

ミヤマタンポタケ

Tolypocladium intermedium (S. Imai) Quandt, Kepler & Spatafora f.
Michinokuense (Kobayasi & Shimizu) Quandt, Kepler & Spatafora

兵庫県ランク… 調
環境省ランク… —

■ 県内分布

西宮市、姫路市

■ 国内分布

岩手県、福島県、三重県、兵庫県、山口県、他

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

地中に棲息する小動物の坑道に沿って発生するコロモツチダンゴに寄生する。里山の減少や、里山事業に便乗した過剰な樹木の伐採による林内の乾燥化のため、発生地が消滅しつつある。

■ 保護上の留意点

発生地の保全。

■ 種の概要

外皮が綿質で被われるコロモツチダンゴ(白色または淡紫色、径5-7mm)に生ず。地生型。子実体は単一、または2-3個を生じ、最小のタンポ型。地上部の高さ15-32mm。頭部は先端に生じ、球形、径2-5mm。はじめ淡橙黄色、のち茶褐色となる。ブナ、ミズナラ、ヤマハンノキ、アオハダ、ときにネマガリザサを散生する林内に発生。発生期は8-10月。